

2026年2月9日

参議院事務局調査部門・EAJ 第6回共催シンポジウム開催報告

政策共創推進委員会

今回のシンポジウムは「理工系分野における女性のキャリア形成と活躍推進」をメインテーマに開催された。冒頭、金子真実参議院事務局企画調整室長と永野博政策共創推進委員会委員長より開会の挨拶があった。金子室長からは、昨年参議院の調査会のテーマ案の一つに、調査室からサーキュラーエコミーを取り上げるなど、前回のシンポジウムにおける「マテリアル科学」を巡る意見交換の内容につながったことの紹介があり、参議院事務局とEAJが連携して政策共創能力を向上させることへの期待が述べられた。

行木陽子ジェンダー委員会委員長より、「理工系分野における女性のキャリア形成と活躍推進～日本工学アカデミーにおける取り組みと提言～」と題し、これまでのシンポジウム、若手研究者によるインタビュー、ダイバーシティに関する調査提言などのジェンダー委員会活動の紹介、科学技術分野における女性の参画状況や、理系の進路選択に関するアンコンシャス・バイアス、女性の参画から生まれるイノベーションの紹介と今後の女性のキャリア形成と活躍推進のための戦略的アプローチについて、データや実例を交えた話題提供があった。また、塩満典子山口東京理科大学長補佐・特任教授より、今年のEAJ緊急提言「情報学・工学分野における女性の参画を拡大する方策」の紹介があった。意見交換においては、AIの活用に当たってのバイアスに関する留意点、理系進学に関する根強いアンコンシャス・バイアス払拭に向けた保護者や教員の意識向上と女性の活躍の広がりを知ることの重要性、進学にかかる首都圏と地方との環境の相違や公立学校側の取り組みの重要性、立法府における女性の活躍と課題などについて活発な意見交換が行われ、複雑な要素が絡み合う課題を考える上で論点の整理ができたとのコメントもいただいた。最後に、金子真実参議院事務局企画調整室長、永野博政策共創委員会委員長より、今後に向けた期待を込めた挨拶があり、閉会した。